平成２８年度　第１回東員町まち・ひと・しごと創生懇談会　主な意見

日時：平成２９年８月２日（水）午前１０時～
場所：西庁舎２階　２０１～２０２会議室

１　総合戦略の平成２８年度実績による効果検証及び内容の修正案について

○稲部地区、神田地区が開発され、人口が増えていることは感じ取ることができる。土地を売ってほしいという話も今までにあったが、最近は土地が売れないと聞くこともある。そのうち底が見えてくるのではないか。

○良質な住宅地の供給とともに、働く場の確保も必要である。

○園へ給食時の手伝いに行っているが、アレルギーを持つ子どもが非常に多いと感じる。離乳食教室もアレルギーのことについて配慮するとよいのではないか。

○空き家、空き地対策について、在来地区とネオポリスでは手の打ち方が全く違うと考えられる。ネオポリスの再生にはリノベーション施策の充実が効果的ではないか。

○ミニ開発が在来地区を中心に進んでいるが、３０年もすれば高齢世帯の密集地になる。ミニ開発の繰り返しでは空き家がどんどん増えていくだけなので、転入が増えているからといって空き家対策も同時に進める必要があるのではないか。

○名張市では団地の中にある空き地を農地や交流の場として活用している。

○企業誘致や雇用の創出について、町とハローワークの連携を密にすればもっと効果が出るのではないか。障がい者雇用に関しても同様である。起業・創業セミナーに関しても、ハローワークから声かけをすることが可能。

○小さい子どもを持つ親など、自分で野菜を作りたいという方は多いが、土地利用のマッチングがうまくいっていないように感じる。空き地は宅地や太陽光発電用地となっていく。空き地を農業用地として活用できれば、高齢者の知恵を若い人に伝える機会の創出にもなる。

○在来地区に貸し農園があってもネオポリスに住んでいると利用しづらい。住んでいるところの近くにあると利用しやすい。

○ふれあい農園の回転はとてもよく、農業をしたいと考える方は多いと思う。しかし、一般の方が所有している農地の貸し借りとなると、法の縛りが出てくるため難しいところはある。

○農業について役場が出来ることは少ないが、コントロールタワーとなることは必要である。

○空き家バンクのように農地バンクがあるとよい。

○市民農園の法的縛りを緩和できないか。

○朝市について、駐車場がなく不便である。旬があるので多くの人の出品物が重複する。

○移住支援について、実際のところは他市町と人の取り合いだと思う。目標値が５件となっているが、もっと力を入れて取り組む予定はないのか。空き家に関して一旦は賃貸契約でお試しに住んでみて、後に売却という流れをつくってはどうか。仕事面も重要であ

ると考える。
ハローワークとの連携を。ハローワークは全国展開しているので東京にいながら東員町の職を紹介することもできる。また東京には移住支援センターがあり、三重県では南の方が力を入れているように思える。安く住居を提供するだけではダメで住むところと働く場所がセットでないと移住まで結びつかない。

○総合戦略全体について、トータルで考えられているとは思えない。役場内での連携が見えてこない。

○女性の経済自立が記載されていない。子育て支援の充実だけでは、子どもの数は増えない。一度退職した女性が正職員として働けるよう、企業に働きかけることも一つの手である。

○年度途中で入園できないのは、女性が仕事復帰しにくい理由の一つである。

○東員町には産婦人科がない。大きなお腹で病院へ行くのは大変である。また、まちに出るための交通手段がない。在来地区は特にそうである。

○保育士の正規雇用が少ないと聞く。一年だけの臨時雇用だとボーナスの額も変わってくる。そのような現状では資格を持っていても保育士として働かないと思うが。

○銀行では産休、育休の取得が増えている。しかし、園の関係で４月復帰が多く、一番人手がいる３月に人がいない。年度途中の受け入れ態勢があればありがたい。しかし、近隣市町と比較して東員町は良い方ではないか。

→　効果検証の結果、資料２のとおり修正する。その他の修正はなし。

2　地方創生先行型交付金事業の効果検証について

○町のＰＲは口コミの効果も大きい。町内の方が町外の方にパンフレットを贈るなどの活用ができると良い。

○ぶどうやブルーベリーの果樹栽培は、この先誰が作ることを想定しているのか。作り手となるであろう若い人へのアピールが必要ではないか。ブルーベリーはどこでもやっているので東員町産である必要はないのでは。

○町内に農業大学校を出て、ぶどうを作りたいという方がいた。町外で栽培しているがなし、もも、ぶどうを手がけ成功している。何か連携できるのではないか。

○もともと東員町に根付いた作物を利用するべきではないか。今は、東員町の主要生産品である大豆と米がブームである。これらは発酵させることで形を変える。このような主要生産品を大切にし、付加価値を付けるような取り組みをしてもらいたい。大豆、米なら東員町の土地に適した栽培方法が確立されている。今の農業家から若い農業家に技術などが伝承できれば農業家の若返りもできるのでは。

○甘酒が女性に人気があり売れると思う。６次産業化できないか。

→　効果検証の結果、資料３のとおりとする。